

「武西の百庚申塚」の修復について

令和 5 年 7 月 12 日

印西市教育委員会生涯学習課文化係

1. これまでの経緯

平成 10 年度 市の史跡に指定

平成 28 年度 街区公園の整備（一部移設、フェンスの整備、樹木の伐採）

令和 2 年度 フェンスの再整備（倒木による破損）

庚申塔の倒壊 1 基、修復 3 基（業者委託）

令和 4 年度 庚申塔の倒壊 1 基、修復 1 基

令和 5 年度 庚申塔の倒壊 5 基、修復 3 基、未修復 2 基

2. 今後の修復計画（案）

令和 5 年度 現状の把握および修復方法の検討

令和 6 年度 地形測量および修復方法の決定

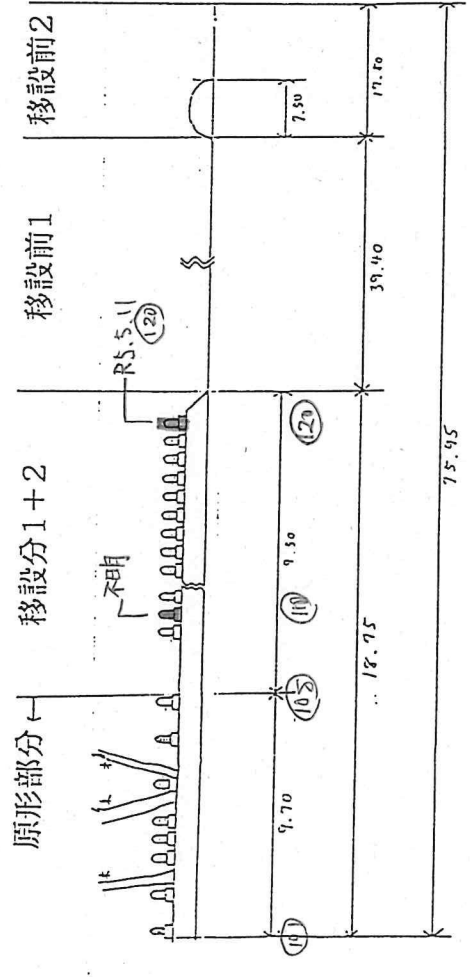
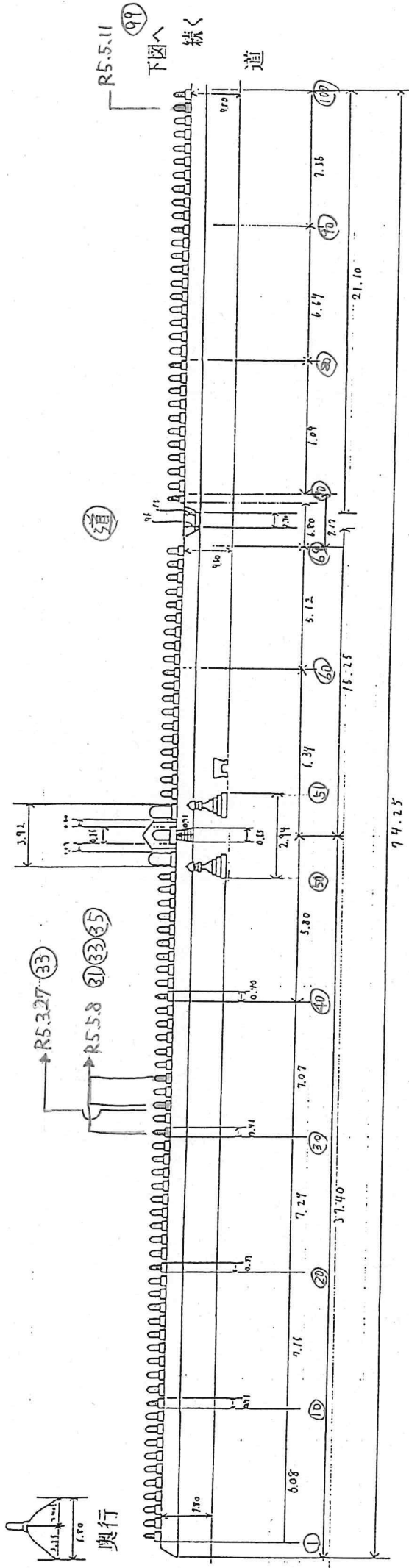
令和 7 年度 修復作業の実施

3. 修復方法（石造物）の検討課題

①石造物自体の修復方法（台座および本体の接着等）

②石造物の設置方法（整地、コンクリート基礎の敷設等）

# 武西百庚申の実測図



縮尺不同



## 武西百庚申の庚申塔の建て直し

令和5年3月30日

1. 令和5年（2023）3月27日、南側（道路側）から33番目の庚申塔が倒れているのを確認。



2. 駐車場側からの画像  
台石がほぼ半分に割れているのを確認する。



3. 台石を真上から撮影した画像  
一角は既に欠損している。真ん中の割れ口は新しく非常にもろい。  
台石は全体的に風化が著しい。また、塔身の底部には台石との接着に使用されたと  
思われるものが2ヶ所確認できる。



#### 4. 建て直し

元の設置場所は、立て直すのに不安定であったため、約 20 cm 駐車場側にずらして立て直す。ただし、台石が割れているため、やや安定感に欠ける状態である。



#### 5. 建て直し画像の 2



#### 6. 建て直し画像 3

34 番目の庚申塔も木の根の上に建っているため、傾いているのが分かる。



※倒れれば随時直す作業を実施しているが、安定した設置や風化対策を講じる時期だと思われる。

## 武西百庚申の庚申塔の建て直し (2)

令和5年5月8日

1. 令和5年(2023)5月8日、南側(道路側)から31、33、35番目の庚申塔が倒れているとの連絡があり、大関と飯島が現地に向かう。

状況は右画像のとおり。



2. 35番目の庚申塔の画像

台石とともに公園側に倒れていた。



3. 33番目の庚申塔の画像

3月30日に立て直したもの。

右側の台石片が180度回転している。人為的に回したと考えられる。



#### 4. 31番目の庚申塔

台石ごと駐車場側に倒れていた。



#### 5. 建て直し画像

33番目の庚申塔については、台石が割れているため直に身を建てて直している。



※倒れた原因は前日の風雨と考えられるが、33番の倒れた状況を見ると柵内に人が入った可能性が高い。

報告：飯島

## 武西百庚申の庚申塔の建て直し (3)

令和5年5月11日

1・令和5年(2023)5月11日、早朝に地震がありその被害を確認するため武西の百庚申に向かう。

南側(道路側)から99番目の庚申塔(北側の土手上)が公園側に倒れているのを確認。



2. 99番目の庚申塔の画像2(北側から)  
台石に接着痕あり。



3. 建て直した画像





#### 4. 北端にある庚申塔

公園側に倒れていた。

『船穂地区調査報告書 印西町石造物第5集』の18地点にあったもの。

高さ 118 cm・幅 34 cm・厚さ 18 cm。大正3年(1914)に造立。



#### 5. 状況画像2 (西側から)

底面の状況。



※元は武西字釜台 1184-2 にあったものを百庚申の土手に移設したものと思われる。以前から公園側に傾いていた。人力での復旧は不可能であろう。

報告：飯島